

ニューガラスフォーラムの インターネットホームページご紹介 (<http://www.ngf.or.jp/>)

インターネット活用委員会（委員長）

川地 伸治

Introduction of homepages of the New Glass Forum

Shinji Kawachi

Internet Committee: Chairman

ニューガラスフォーラムの活動は、ガラスのメーカー、ユーザーそれにガラスに関心のある会社や大学、官庁によって支えられています。それらの人々とフォーラムを結ぶメディアとして機関紙「NEW GLASS」が年4回発行されていますが、それを補完する手段としてインターネットのホームページを新しく開設いたしました。

ニューガラスフォーラムがホームページを運営する意義として、つぎのような目的に役立つのではないかと認識しております。

1. 「シーズとニーズの出会いの場を提供する」というフォーラムの基本的な使命を達成するための具体的手段の一つと考えます。産・官・学、メーカーとユーザー、産と産など会員との間や海外とのコミュニケーションが迅速、容易、密接になることが期待されます。
2. ホームページは一般の人々に対する情報発信機能をもっています。ガラスに関係す

る製造会社、新製品、生産技術、科学などに関する情報を発信することによって、ガラスそのものやニューガラスフォーラムの社会的な認知度を高めることに役立つでしょう。

3. インターネットが普及し始めたのは、わずか3年くらい前からで、今後、仕事の仕方、社会のしくみ、人の価値観などに大きな影響をあたえるであろうといわれています。ニューガラスフォーラムの活動という実践の場を借りて、この変化を実感してやることは、未来を先取りするよい機会ではないかと思われます。

以下に具体的内容について、写真に掲げたホームページの表紙にそってご紹介します。

• お知らせ

フォーラムが企画する委員会、講習会、研究会などの開催をご案内します。現在、主としてファックスで行っている開催通知や出欠の確認などは、このページで行うことになり、事務の能率化に役立つものと思われます。「事務局だ

より」では、事務局の方々が会員の皆様にお知らせしたり、お願いしたい生の声や事務局の活動状況を載せていただく予定です。

• 電子掲示板

各社がマスコミ向けに発表したニュースリリースを掲載する欄です。新聞などでは、要点だけ掲載されることが多いので、各社の発表をそのまま掲載することを特徴としたいと思います。また、それ以外にも、会社、大学、国研、官庁などからガラス関係者へ知らせたいことがあれば、この掲示板を積極的に活用してください。

• 研究会・研修会の活動

若手懇談会は年間6回、研究会は年間各4回程度の会合をもっています。当事者以外には活動の中身がなかなか分かりにくいものですが、この欄で活動状況を広く世の中にPRしていただきたいと思います。研究会に参加したいという希望者がさらに増える期待があります。

• 研究開発活動ほか

ニューガラスフォーラムの存在を支える大きな柱の状況がここで発表されます。ご存知のガラス組成データベース INTERGLAD は、バージョンアップに取りかかっており、① Windows や Machintosh などの OS に対応、② 計算ソフトへの連動、③ 1994 年以降のデータ追加、などの機能強化が計画されています。それが、このホームページを経由してオンラインで検索できるようになります。今秋、稼働の予定です。また、現在、国の支援を受けて実施することを計画しているコンジュゲートマテリアル・プロジェクトやガラスの高温物性測定プロジェクトの進捗状況がこの欄で報告されます。

• 機関誌

最新号の目次が見えるだけでなく、ニューガラスフォーラム発足以来発行された NEW GLASS 誌の目次がキーワードを入れることにより検索できます。ガラス研究の関心の変遷など意外な発見があるでしょう。読後アンケート欄もありますので機関誌を読まれた感想をお知らせください。機関誌をよりよくするために活

かされます。

• ガラス関係リンク集

インターネットでいちいち情報源を自分で探すことは時間も費用もかかります。ガラスを研究している内外の大学、ガラスの製造会社へ簡単にリンクできるようにガラスに特化したページです。「めり玻璃」は長岡技術科学大学が主催しているガラス関係者の情報交換システムです。このシステムともリンクしています。

• (株)ニューガラスフォーラムとは

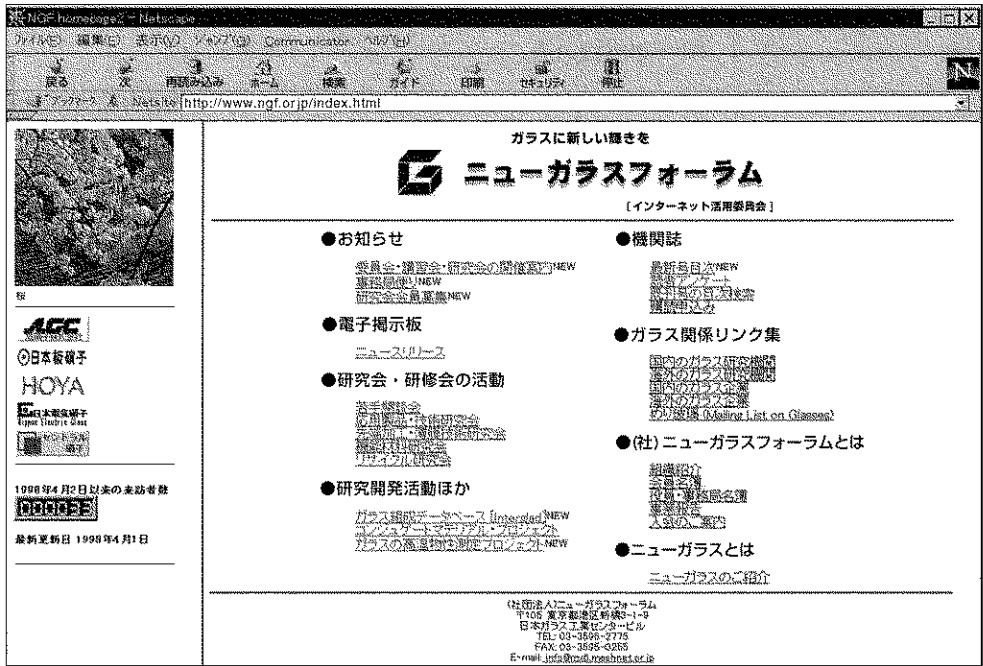
ニューガラスフォーラムという組織の全体像を紹介する欄です。この中の会員会社名をクリックだけで、会員会社のホームページに、リンクが切り替わるようになっています。

• ニューガラスとは

ニューガラスフォーラムの事務局の入っているビルの一階にあるガラス博物館のようなニューガラスに関する紙上博物館です。一般の方にニューガラスというものを知っていただくためのコーナーです。

このホームページは、昨年10月から立ち上げましたが、最近やっと皆様にご紹介できるレベルになったのではないかと感じております。しかし、まだまだ所期の目的のためには充実しなければならない点もたくさんあります。そのいくつかを述べて皆様のご協力をお願いしたいと思います。

1. このホームページの作製は、東京大学、長岡技術科学大学、滋賀県立大学のコンピュータに詳しいガラス研究者の方と各社のボランティアの方による協力で進めております。(ホームページの題字右下にある「インターネット活用委員会」の欄をご覧ください。)内容をさらに充実させるためには皆様のご協力をぜひお願いいたします。協力いただける方は、ニューガラスフォーラムの山口総務部長 (Eメール masayama@mxh.mesh.ne.jp) までご連絡ください。
2. ニューガラスフォーラムのホームページ



は、ガラスに関することは何でも分かるような情報源へのゲートウエーにしたいと願っております。特に海外からのアクセスに対応できるようにすることが必要でしょう。英語版の発足が急がれます。

3. インターネットのホームページは、その性格上ニューガラスフォーラムの会員の方以外でも自由にアクセスできます。しかし、フォーラムの会員であることのメリットを感じていただける役立つ情報をクローズした形で提供することも課題でしょう。
4. インターネットの特徴は、情報の双方向性にあるといわれています。それを生かして、ニューガラスフォーラムで行う価値のある企画を考えられないでしょうか。たとえば、電子掲示板で参加者を募って、外国

語で書かれたガラスに関する文献を分担して一部を翻訳し、参加者は全文を受け取ることができるなどというアイデアも考えられます。皆様からのご提案をお待ちしたいと思います。

5. インターネットは、費用があまりかからない情報発信メディアです。それでもこのホームページを維持するため、現在、年間約80万円の経費が必要です。表紙画面左側に常時見える形で会社の広告を掲示し、これを有料とすることで、経費を賄いたいと思っております。この広告部分をクリックすると各社のホームページに飛び機能になっています。ご協力をよろしくお願いいたします。